

平成28年度第1回県政参画電子アンケート  
「行政評価」等に関するアンケート

1 調査概要

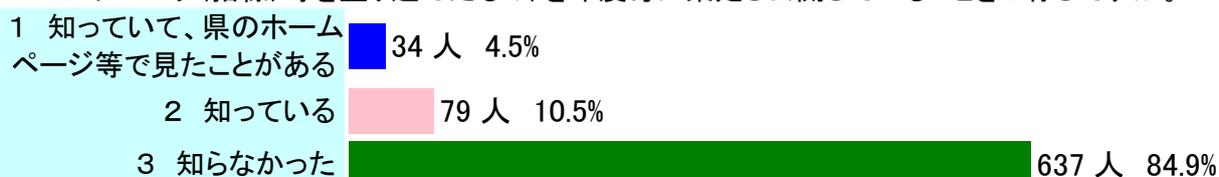
- テーマ 行政評価等に関するアンケート
- 実施期間 平成28年4月8日(金)～4月20日(水)
- 対象 県政参画電子アンケート会員 892名
- 回答数 750名 (回答率 84.1%)

2 目的・概要

県では、「県民の声」制度やこの「県政参画電子アンケート」など様々な広聴制度によりいただいた御意見を反映させながら事業や施策を実施・展開しています。

また、行財政改革の観点から、県から選ばれた評価委員が各事業・施策を評価する「事業棚卸し」(鳥取県版事業仕分け)を平成22年度から実施し、業務改善や廃止を提案するなど一定の成果をあげてきました。しかし、評価を行うスケジュールが短期間であることや評価(事業改善や廃止)のみが注目されてしまうことから、平成28年度からはより一層効果的な県民参画型の行政評価を目指す「県政モニタリング事業」を実施することとしています。今後の事業の参考とするため、県が行っている行政評価制度に関する認知度や県政分野に対する認識についてアンケートを実施いたしました。

(問1) 県の各所属ごとに「工程表」(今後の目標、業務の進め方、達成度が見えるベンチマーク(指標)等を盛り込んだもの)を年度毎に策定し公開していることをご存じですか。



(問2) 予算編成状況(各課別の予算要求資料や事業に対する自己評価)が公開されていることをご存じですか。



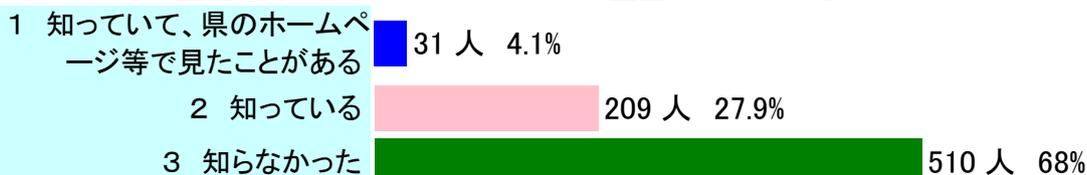
(問3) 県が設置する審議会に「公募による一般の委員」(公募委員)の枠があることをご存じですか。



(問4)「県民の声」制度で県の事業や施策への提言ができることや、その情報が公開されていることをご存じですか。



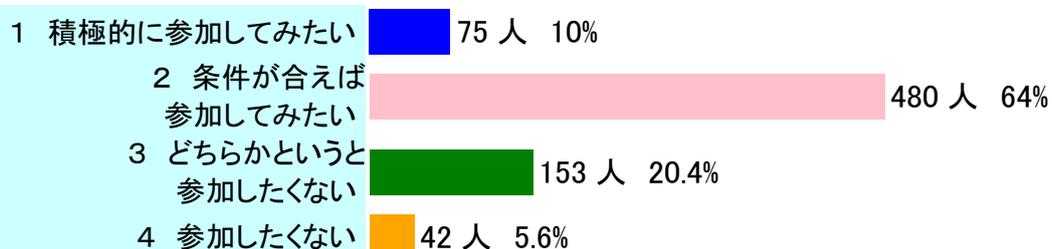
(問5)外部監査制度(一定の資格を持つ者が県及び財政的援助団体等に対して監査を行うこと)により事業の評価(監査)を行っていることをご存じですか。



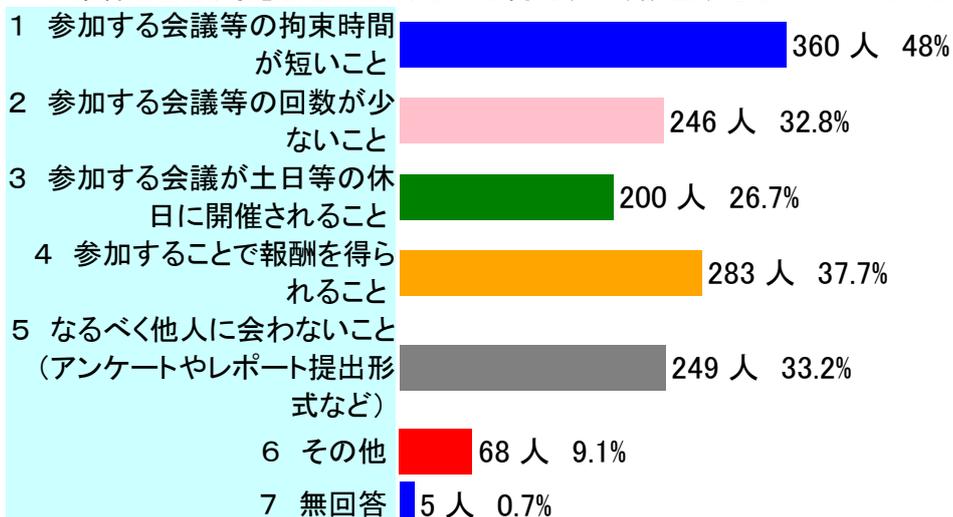
(問6)事業棚卸し(鳥取県版事業仕分け)が行われていた(H22年度からH27年度)ことをご存じですか。



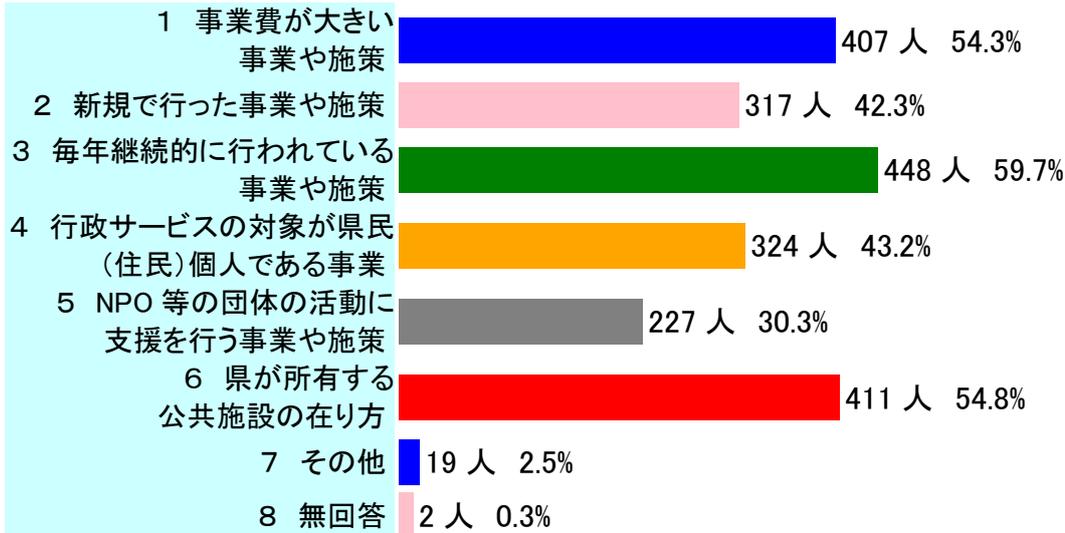
(問7)近年、行政評価に住民視点を入れる自治体が増えていますが、行政の取組を評価することに参加してみたいと思いますか。



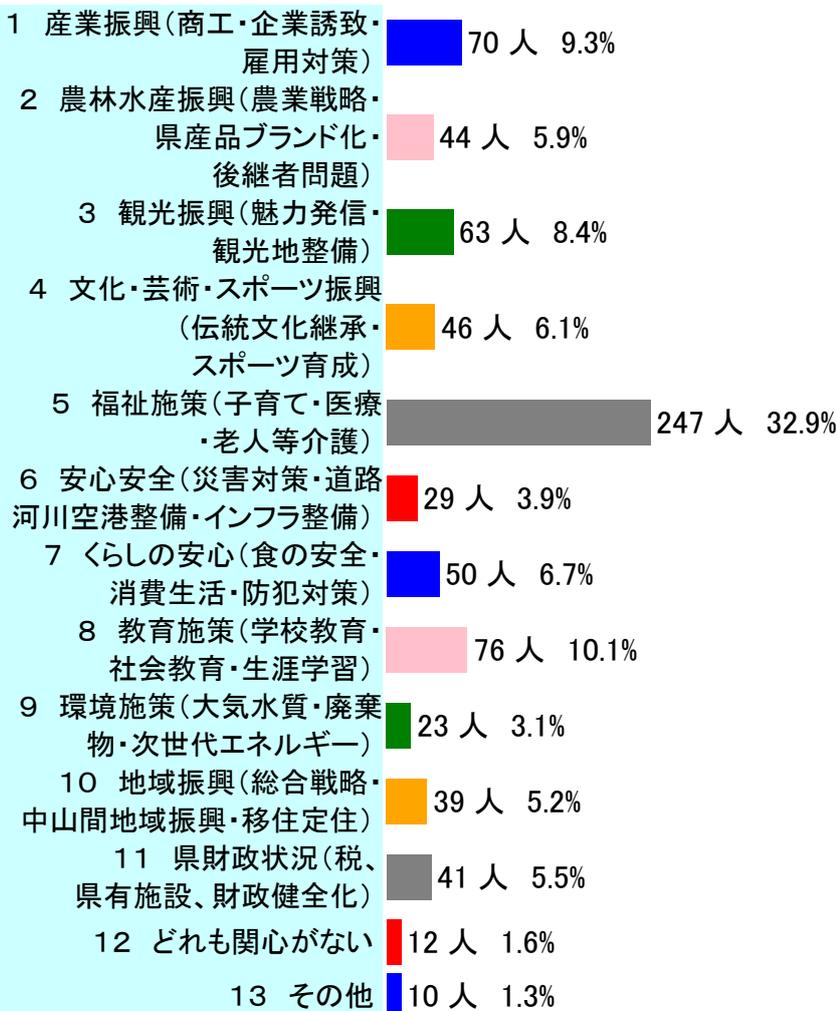
(問8)あなたが行政の取組を評価することに参加するとしたときに、条件となる(考慮してほしい)ものは何ですか、該当するものにチェックしてください【複数選択可】



(問9) 県民目線での評価や点検がより求められる事業や施策には  
 どういったものがあるとお考えですか。【複数選択可】



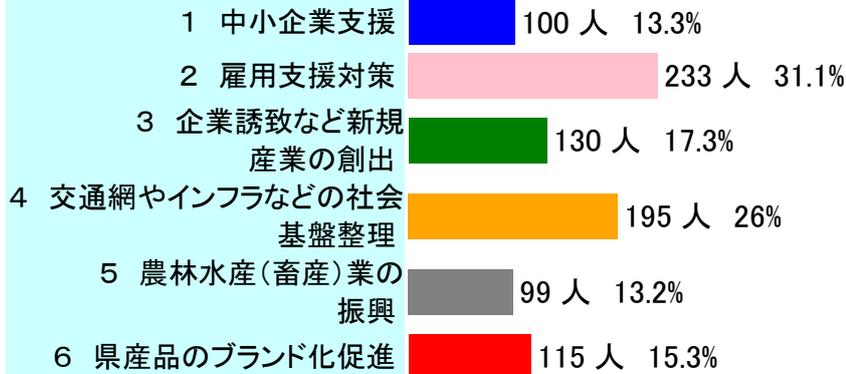
(問10) 次のうち、あなたがいま最も興味・関心のある分野はどれですか。  
 次のうちから、一つだけ選んでお答えください。



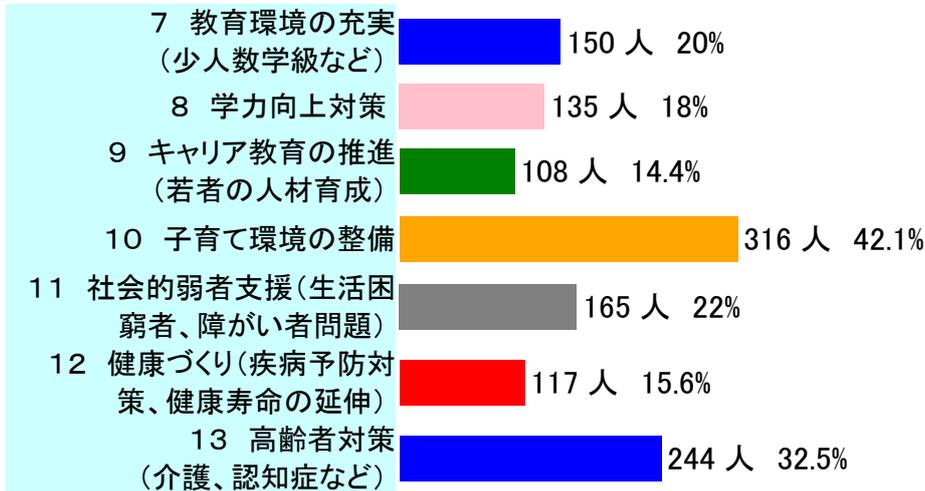
(問11)

今後も、積極的に様々な広聴制度で意見収集を行い、県民の皆さんの御意見を県政に反映させていきますが、より県民目線での意見を取り入れる必要性があるのは次のうちどれだと思いますか。  
次の、具体的な詳細の分野(1~30)の中から、5つ選択してください。

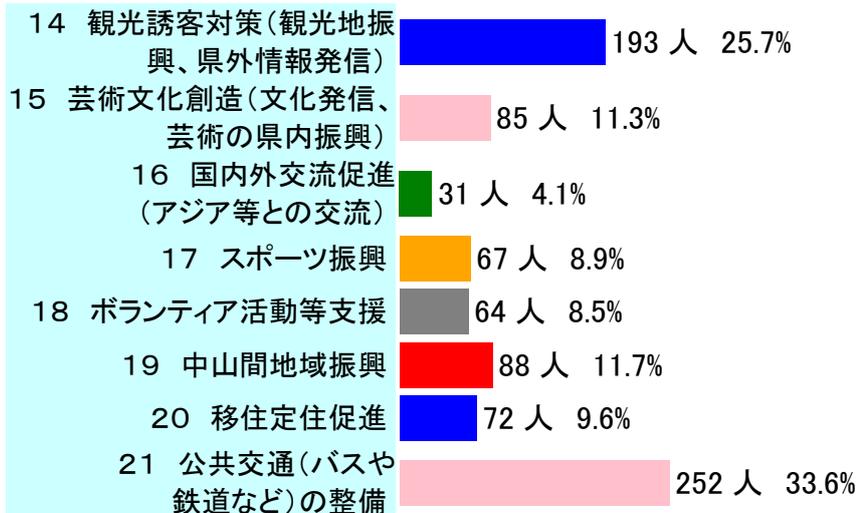
### ○産業振興



### ○福祉・教育部門

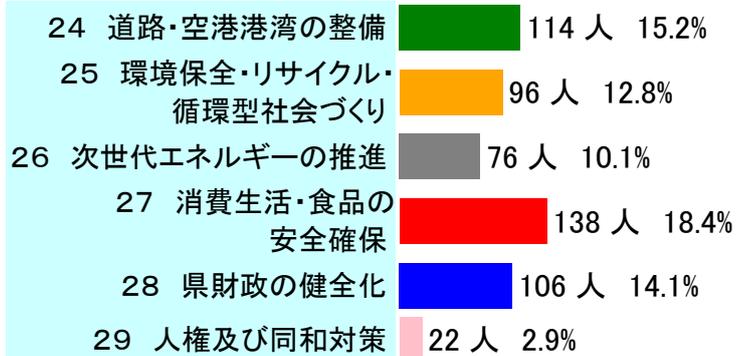


### ○地域振興



### ○安心安全・環境





○その他



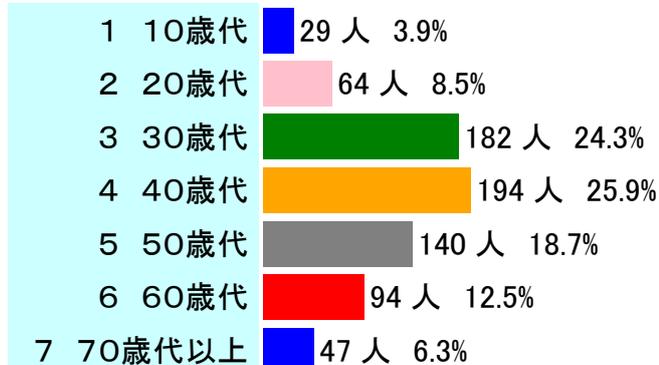
※一部回答者が5つ以上の回答をしている場合があり、  
問11の総数と回答者数が一致しない。

■回答者属性

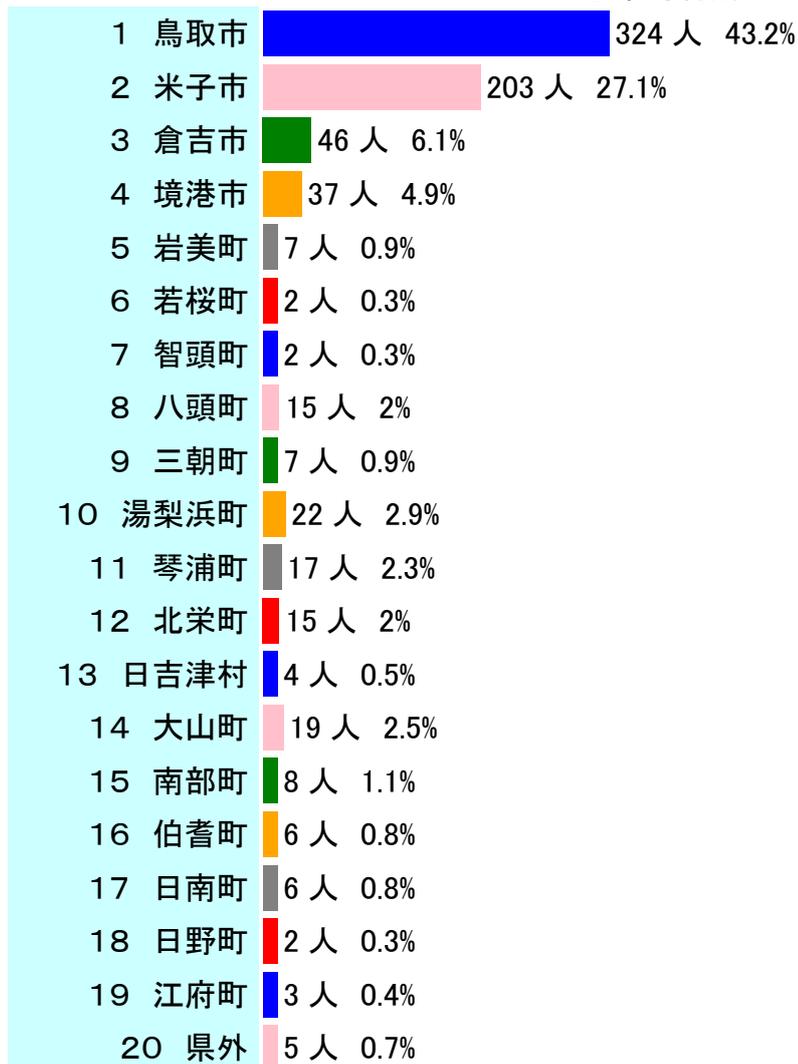
○性別



○年齢



○市町村別



○地区

